

美食とともに寛ぎの時を。
人が集うキッチン

姫路市 K氏邸



1 J型キッチンを2階から見下ろす。コーリアン®が床や建具に用いられた木の質感とも調和し、スタイリッシュななかにも温もりを感じさせる空間を演出。ワークトップと同じコーリアン®でつくった蓋を開めれば、内蔵された鉄板焼き機の存在もまったくわからない。2 ワークトップの側面は流れるような曲線を描きながら厚みが大胆に変化するデザイン。ゲストの誰もが想像以上の存在感に驚きの声をあげるといふ。

ハワイに年1回、1ヶ月は滞在するというオーナーご夫妻の要望から生まれたハワイのリゾートハウスのようなK氏邸。中庭のプールテラスに面して大きな開口をもつ、天井高5mのダイナミックな吹き抜けのLDKで中心的存在となっているのが、全長4mものアイランドキッチンだ。

「わが家は来客が多く、妻は料理が得意なので、新築にあたっては『人が集まるキッチン』をイメージしました。以前の住まいはキッチンが離れていて、リビングなどで友人たちと会話を楽しんでも料理をする妻だけは孤立状態。そこで希望したのがリビングとダイニング、キッチンを一体にすること。キッチンのワークトップにダイニングカウンターをつなげ、さらに鉄板焼き機もカウンターに造り付けたいとお願いました」とK氏。

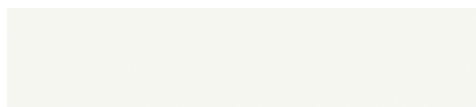
キッチンの設計・デザインを手掛けたのは今井商店の今井智仁氏。建築設計の田中一郎建築事務所・田中氏から示されたLDKの平面図とキッチンイメージをベースに、お互いの意見を交わしながらつくり上げていったという。

「ワークトップは上から見るとアルファベットの『J』字型。オーナー様の名前の頭文字を採り入れました。さらに変化をつけるため、側面は美しい弧を描きながら、カウンターの厚みが大胆に変化するデザインに。カウンター自体が長いので、端まで食卓として必要な強度がとれる厚み・形としています」と今井氏。ワークトップ・側面とも、コーリアン®ならではのシームレス接着で継ぎ目がまったく見えない仕上がりになっていることで、個性的なフォルムがより美しく際立っている。シンクも専用の接着剤でワークトップと一体成形のように仕上げ、よりスタイリッシュな趣を演出している。

「ワークトップが主役となるよう、キャビネット部分はステンレスの鏡面ブラック仕上げを採用して存在感を消しているのもポイント。ワークトップにはつと目がいったときに、下のキャビネットの存在が気にならない、けれど高級感のある素材を選びました」と今井氏。

「提案を受けたときは石のように冷たいのではないかと心配しましたが、実際は見た目も触り心地も温かみがあって気に入っています。汚れがつきにくく、掃除もさっと拭くだけできれいなこともうれしいですね。シンクとワークトップも継ぎ目がないので汚れがたまりず清潔さを保てます。使い勝手の点でも、作業スペースは広々としてゆとりがありますし、調理をしながらカウンターに座る人にもリビングやプールサイドで寛ぐ人にも目が届きます」と奥様。引越してから1年が経ち、多くのゲストが訪れ、奥様の手による美味しい料理とともに楽しい時間を過ごされている様子。シンボリックなキッチンを中心に、今後もよりたくさんのコミュニケーションが広がっていくとだろう。

使用色
ミルクイーホホワイト (2019年3月カタログ掲載終了色)



- 設計 田中一郎建築事務所
- キッチン デザイン・設計 神戸 今井商店 今井智仁
imai@world.ocn.ne.jp
- コーリアン® 加工協力会社 マーブル建材株式会社